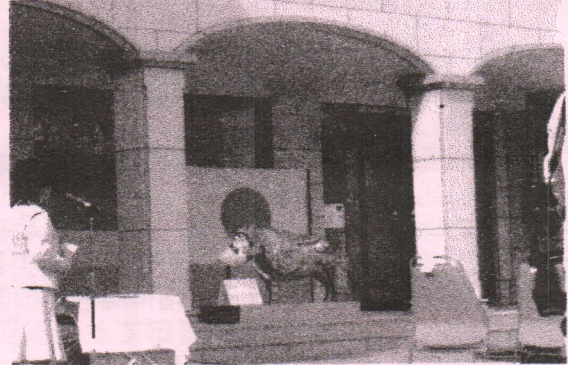


第12号
平成19年5月20日
発行
「市民活動情報紙
なると」編集委員会

市民活動 情報紙なると

鳴門市ボランティア
連絡協議会
☎685-7170
鳴門市市民活動
支援センター
☎684-0655



ザルツ・ザヴ（塩猪）像寄贈される

鳴門市の姉妹都市であるドイツのリューネブルク市から鳴門市制60周年を記念してザルツ・ザヴ（塩猪）像が寄贈され、平成19年5月15日ドイツ館で除幕式が行われました。ザルツ・ザヴは、塩を発見したイノシシで、リューネブルク市では富と繁栄の象徴です。

ひとり一人が生き生きと



NPO法人 ヒューライツ鳴門

私たちは、昨年5月NPO法人「ヒューライツ鳴門」を立ちあげました。

鳴門市内及び周辺地域の幼児から高齢者にいたるまでの幅広い層の人たちの、人権教及び啓発に関する事業・地域の活性化にむけた地域振興に関する事業・青少年の健全育成に関する事業を行い、差別のない社会の実現をめざした活動を目的としています。

本年4月より、鳴門市青少年会館の委託業務を受けて活動しています。青少年会館では、毎日、子どもたちの明るく元気な声とともに職員は日々奮闘しています。

現在、少子化で子どもたちの数がどんどん減少している中、逆に会館の利用者は増えてきています。それは青少年会館の設置目的の一つでもある親の就労権の保障、子どもを安心して託せる場所であるということと、もう一つは、基本的な生活習慣の確立や自尊感情を育み、差別を許さない子どもの育成をめざした、教育の場としての活動も行っているからです。

中学・高校生は育友会の中で、小学生についてはふれあい教室で、人権問題を中心とした学習をしています。また、年間行事の中には、様々な活動を通しての仲間づくりや、体力づくり等も行っています。

まだまだスタートしたばかりの法人ですが、わたしたちは、ひとり一人の人権が守られ、みんなが幸せになれる、そんな社会をめざした活動をしていきたいと思っています。



館外学習 あすたむらんどにて



NPO法人ぼてとくらぶ活動報告

NPO法人 ぼてとくらぶ
理事長 四宮 譲二

回復途上にある在宅の精神障害者は社会との接点が少なく、活動の場が閉ざされ社会復帰も難しい状況にあります。

このような人達に、心身の健康状態に配慮しながら活動の場を提供し、自立訓練を通じて就労の準備をするとともに、さまざまな社会参加活動をとおして社会復帰を支援することを目的に、平成5年6月精神障害者の家族会によって、小規模作業所「ぼてとくらぶ」が任意団体として開所されました。

平成18年4月障害者自立支援法の施行に伴い、地域活動支援をさらに進めるため、同年8月NPO法人格を取得しました。

現在は利用者17名で、指導員のもとさまざまな活動をしながらか社会生活への適応を目指しています。

NPO法人ぼてとくらぶの事業としては

- (1) 保健・医療、又は福祉の増進を図る活動
- (2) 職業能力の開発、又は雇用機会の拡充を支援する活動
- (3) まちづくりの推進を図る活動

を定款にあげております。

具体的には、プラスチックハンガーの組立て加工を通して、職業能力を高める作業、さつまいもの植え付けや収穫、販売をすることで、生産の喜びを体験する活動、妙見山

公園の花壇管理の障害者社会参加活動、協調性やコミュニケーション能力を育てるための、精神保健ボランティア「うずっこ」とのクッキングなどの交流活動、内にこもりがちな心を外にも向けさせるための、俳句や俳画制作などの創作活動を行い表現力を養っています。

メンバーの俳句を一部紹介します。

タンポポや猫の寝返り二度三度	タカ子
ひとり身に寂しさ誘う隙間風	知恵子
柚子の皮風呂に浮かべて肩ほぐれ	純
空光る花火つぎつぎ海も染め	勝
気まぐれに止まりしとんぼ夜はどこ	久美子
寺の庭気品あふれる牡丹咲き	力三

月別の季語の映像ビデオを鑑賞し、季語のイメージをふくらませ、観察や抒情を加えて俳句を作っています。吟行や散策等俳句を作る楽しみを味わいたいと思っています。

NPO法人ぼてとくらぶの活動を地域に広げたいと考えております。

地域活動支援センターとしての活動を充実させ、メンバーが少しでも社会復帰に近づくことができるよう取り組みたいと考えています。

御理解いただき、御協力、御支援いただける方々を待っております。よろしく申し上げます。

企業のボランティア活動への取り組み

夢屋鳴門店 荒川 浩二

私達夢屋グループは、パチンコホール業界のイメージを一新させ、安心してご遊技頂ける本来の娯楽施設にする為、当社の経営方針『地域密着型』に重点を置いております。

地域密着型の店舗作りとして、地域の方々に

- ・より夢屋グループを知って頂く事
- ・より信頼して頂き、安心してご遊技頂ける環境を作る事

を目標に活動しております。現在夢屋グループは全国に47店舗展開しておりますが、全店で『地域密着型』『地域貢献』に取り組んでおります。

私達夢屋鳴門店は、地域貢献の一環として鳴門市ボランティア連絡協議会に登録し、海岸の清掃、アルミ缶の回収、寄付、また景品のお菓子を児童養護施設に寄付等、行動範囲は狭いものの様々なボランティア活動をさせて頂いております。

また店舗内に地域貢献に関し、鳴門市の様々な情報を掲示しており、県外からお越しのお客様、若い世代の方に鳴門の良い所を広める行動を致しております。

今後の活動予定として、私達の行っている地域貢献・ボランティア活動を店内に掲示し、より多くの方々に広め知って頂く、また、広めることにより、私達のような企業全体でボランティア活動に取り組む団体を増やしていきたいと思っております。



防災は市民一人ひとりの責務です

里浦地区自治振興会

安全部々長 松下恭司

「うちは津波が来ても逃げる所がない」
12年前の里浦地区自治振興会設立準備会の席上で粟津地区の総代さんからこんな発言がありました。(現在の防災活動の原点)

時は、阪神淡路大震災(平成7年)直後のことで人々の防災への関心は大変な高まりを見せていました。8割の建物が全半壊し甚大な被害状況にもかかわらず近隣同士で迅速な救出活動が行われた北淡町富島の話や、日頃の緊密な連携と自主防災組織の活動により延焼防止や高齢者の救出・救援物資の配布が行われた長田区真野地区の事例などが話題となり、コミュニティ活動の重要性が唱えられていました。

ちょうどこの頃、鳴門市においても48国体に結集した市民のエネルギーを地域づくりに生かそうと市内全域にコミュニティ組織の導入が進められていました。

里浦は一足遅れた平成7年11月、町内の各種団体を結集し、里浦住民の地域共同体として里浦地区自治振興会は誕生しました。(13地区中の12番目に発足。現在は14地区)

早いもので12年目に入りました。この間、住民の皆様を支えられ様々な取り組みをしてまいりました。中でも平成13年度から始めた防災活動は、本会発足当初からの懸案事項でしたが、この年に設けられた市の「まちづくり支援事業」に採択いただけたことが活動の大きな励みとなり今日に至ったことは大変ありがたいと感謝いたしております。

私達の里浦町は、発生が懸念される南海地震では、地震(震度6弱)被害に加えて町内の殆どが

浸水する津波被害が予測されており、様々な啓発活動が続けていますが住民の関心はまだまだ低く問題は山積しています。

そこで、昨年度より「今できる日頃の備え」として家具転倒防止対策の普及活動を重点事業とし取り組みを進めているところです。

防災の基本は「自分の命は自分で守る」ことです。この自覚を持ち普段から災害に備えることは市民一人ひとりに課せられた責務だと思えます。

各地で地震が頻発しています。明日はわが身と考えると、先ずは家具類の固定から我が家の安全対策を実行しましょう。



講習会風景

信頼されるNPOの7つの条件

(その七)

最低限の事務局体制が

整備されていること

事務局体制には、それぞれの組織の事業内容や事業規模により違いはありますが、社会的な事業を行っているNPOとしては、常勤スタッフの有無にかかわらず、外部からの連絡がいつでもきちんとかれる体制の整備が必要です。さらに、その担当者が頻繁に変わることもなく、継続的・安定的に仕事をしていることも重要です。また、組織として事業を実施している限り、情報が個人にのみ所有されることのないように、組織内部で情報を共有するための連絡調整の仕組みをつくることや、担当する業務の範囲や責任の所在を明確にしておくことも重要です。物事を進めていく上での決裁の仕組みや権限の所在についても、内部で取り決めておくことが大切でしょう。

(民間NPO支援センター)

将来を展望する会)

助成金の紹介



◎事業助成・研究助成

◇助成対象

- ・事業助成 地域福祉活動を目的にするボランティアグループ及びNPO（法人格の有無は不問）
- ・研究助成 非営利の民間団体等及び個人

◇助成内容

- ・事業助成 在宅高齢者または在宅障害者の自助・自立等の生活支援に資する事業
在宅高齢者または在宅障害者の家族に対し介護負担の軽減にかかわる支援する事業
- ・研究助成 老人保健、生活習慣病または高齢者福祉に関する研究、調査への助成

◇助成金額

- ・事業助成 1件あたり20～50万円
 - ・研究助成 1件あたり30～70万円
- 応募：平成19年6月末日必着
資料請求：平成19年6月20日まで
(FAXまたは郵送のみ)
☎&FAX03-3272-6268

◇問合せ先

社団法人 太陽生命ひまわり厚生財団

◎市民活動、または催し物等の事業に直接要する諸経費の助成

◇助成対象

- ・高齢者が活動する市民活動団体
- ・高齢者の医療・保健・福祉・まちづくり等、高齢者を対象とする市民活動を行う団体

◇助成内容

市民活動、または催し物等の事業に直接要する諸経費
(既に終了したものについては、含まない)

◇助成金額

1件あたり100万円限度

◇申込締切日

平成19年7月31日必着

◇問合せ先

財団法人 ユニバーサル財団
☎03-3350-9002
FAX03-3350-9008

行事のお知らせ

《詩画作家 星野富弘さんとの出会いパートII》

NPO法人ふくろうの森

【と き】 6月23日(土)

10:00～12:00

【ところ】 鳴門市立図書館 2階

【内容】 星野さんについて語り合う
～私の好きな作品～

【対象】 中学生以上

【参加費】 100円(当日集金)

【定員】 50名(事前申込み)

申込み受付5月15日～先着順

【講師】 藤田博子さん

(富弘美術館を囲む会徳島県支部長)

【問合せ先】 ☎685-0389

《世界のバリアフリー絵本展》

NPO法人ふくろうの森

【と き】 7月26日(木)～7月29日(日)

【ところ】 鳴門市立図書館 1階ロビー

【入場料】 無料

【問合せ先】 ☎685-0389

着任の挨拶

市民の皆様との協働による、夢と希望と活力に満ちたまちづくりの実現に向けて、微力ながら全力で頑張っていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

市民福祉部長 西谷 茂
所 長 福有 慎二
副 所 長 増家 澄子

～センタースタッフの紹介～

皆さんこんにちは。
4月1日より市民活動支援センターで市民活動専任指導員として勤めております前田敏明と申します。どれだけお役に立てるかわかりませんが、お気軽にお立ち寄りいただければと思います。どうかよろしくお願いいたします。